

※今年度の募集は締め切りました。

第 21 回英語オーラルインタープリテーションコンテスト募集要項
I 中学生部門 II 高校生部門 III エキシビション (中学・高校・大学生)

The 21st Nanzan Junior College English Oral Interpretation Contests

- 主 催 南山大学短期大学部, 学生支援プロジェクト「ベタニア」
- 後 援 愛知県教育委員会, 岐阜県教育委員会, 三重県教育委員会, 名古屋市教育委員会
- 協 賛 株式会社紀伊國屋書店
- 開催趣旨 (旧) 南山短期大学は 1995 年に高校生を対象とした第 1 回大会を開催しました。以来, 英語教育の一環として地域はもちろん, 東海 3 県をはじめ他県の高校生・中学生も参加する大会となりました。本大会はこの分野では唯一の大会であり, 開催を機に, 生徒・学生の英語パフォーマンス力がさらに向上することを切に願います。また, 昨年からは, より広範囲な参加者を募るべく大学生の部をエキシビション (個人・団体) として開催しています。
- 応募資格 日本の中学・高校・短大・大学に在学する者。ただし短大・大学生はエキシビションのみ参加可能。過去に優勝経験があるグループの同一メンバーによる応募も可能。
- 部 門
- I 中学生部門 (団体発表)**
1つの作品を2人以上で読み上げるもので, **3分以内**の作品または作品の抜粋を選び, 読み手の解釈にしたがい音声表現します。
- II 高校生部門 (団体発表)**
1つの作品を2人以上で読み上げるもので, **4分以内**の作品または作品の抜粋を選び, 読み手の解釈にしたがい音声表現します。
- III エキシビション 中学・高校生 (個人発表) 大学生 (個人と団体発表)**
4分以内の作品または作品の抜粋を選び, 読み手の解釈にしたがい音声表現します。
- 日 時 2015 年 11 月 14 日 (土) 午前 9 : 30 ~ 午後 4 : 30 (予定)
午前 中学生部門, エキシビション中学生 (個人)・大学生 (個人と団体)
午後 高校生部門, エキシビション高校生 (個人)
- 会 場 南山大学名古屋キャンパス R 棟 1 階 フラッテンホール (入退場自由・無料)
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18
交通アクセス <http://www.nanzan-u.ac.jp/Information/access.html>
(地下鉄名城線「八事日赤」駅より徒歩 8 分)

※今年度の募集は締め切りました。

■応募方法 2015年9月8日（火）午前9時～10月6日（火）午後3時

短大部のウェブサイトから応募フォームをダウンロードし、必要事項を記入の上、以下のメールアドレスに添付の上、お申し込みください。応募フォームは、9月上旬よりダウンロードが可能となります。エクセル1シートにつき1組（または1人）の情報を記入してください。「件名」は「OIC 申込み」として送信してくださいようお願いいたします。必ず学校単位でお申込ください。お知らせいただいた個人情報厳重に管理します。

送付先メールアドレス：kokosei-oralinterp@nanzan-u.ac.jp

■参加者数 参加可能者数は、I 中学生部門は、先着 13 組（1 校につき 1 組）、II 高校生部門は先着 23 組（1 校につき 2 組）までです。ただし、複数校で1つの団体として参加が可能となりました。お考えの場合はご相談下さい。III エキシビションは、中学・高校・大学生あわせて13組（1校につき1組）とします。過去の参加者の継続出場は可能です。

中学生部門・高校生部門ともにコンテストは、団体発表のみです。個人発表はエキシビションとして行いますので、ふるってご参加ください。

■応募に際しての注意点とお願い

- ・参加者による創作・編集・翻訳作品は不可です。原著の縮約版などは可能ですが、必ずその旨を明記してください。
- ・制限時間を超えた場合は減点対象となりますので、ご注意ください。
- ・本大会の入賞者発表や演技中の様子は、南山大学の入試広報関係資料や公式ホームページ、公式 Facebook に参加者の学校名、学年、氏名、写真、映像とともに掲載されることがありますので、予めご了承ください。また、当日は報道機関を招待しています。参加者の氏名等が報道されることもありますので、あわせてご理解いただきますようお願いいたします。
- ・受付が完了した学校には受付完了メールを順次お送りいたしますので、受付をしてもメールがない場合には、ご連絡下さい。

■審査基準

各発表は、解釈とプロソディー（発音・抑揚・リズムなど音声面）に関して審査します。作品に込められたメッセージをきちんと読解しているかどうか。読み手は、作者になりきってそのメッセージを伝えようとしているかどうか。音声表現のための英語の発音、抑揚、リズム、声の大きさなどは正確であり、内容にふさわしいものかどうか。さらに、読み手全員が一つにまとまり、聴衆に好印象を与えているかどうかなどが審査のポイントとなります。マイクは使いません。エキシビションは審査対象ではありませんが、発表後コメントをする予定です。

※今年度の募集は締め切りました。

■表彰

高校生部門 1位, 2位, 3位

中学生部門 1位, 2位, 3位

審査員賞 1位～3位受賞者を除き, ユニークな読み手3組

■オーラル インタープリテーション

読み手が英文の伝える内容を解釈し, それに合わせて声や表情, 時には体や手に持つスクリプト自体を利用して聴衆に英語でメッセージを伝えるものです。演劇とは違い, 読み手は聴衆に向かって話しかけます。ステージ上では互いに顔を見て話し, 演技することはありません。また, 衣装や大道具・小道具などは使用しません。本学では, 「イス」として使用できる黒の箱状のものを用意しますので, 適宜お使いください。

音読の際には, 声の大きさ, 読む速さ, 声の質, 感情表現に注意します。またジェスチャーを用い, 顔の表情や向き, 視線の方向にも気を配ります。必要に応じて話の内容に呼応した動きがあると良いかもしれません。黒色などの台紙に貼ったスクリプトは持って登壇しても構いません。暗記の再現を目指すより, 読みながら伝えるという姿勢が好ましいでしょう。発表時には, 読み手の立つ位置を決め, 誰がスクリプトのどの部分を音読するか, 他の読み手との連携にも注意します。

■ご案内

1. 出場の有無にかかわらず, 本学講師が学校に出張し直接生徒の皆さんにプレゼンテーションすることも可能ですので, どうぞお気軽にお問合せ下さい。ただし, 出張は申し込み順で夏休み期間までとします。
2. OICに関する情報は, 短大部ホームページにも掲載しますので随時ご覧ください。

■お問合せ

OICについて

短期大学部合同研究室

電話: 052-832-3111 (代表)

メール: kokosei-oralinterp@nanzan-u.ac.jp